

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備 設備届出書
一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

消防署長殿					② 年 月 日		
③ 届出者 電話 () 番							
住所							
氏名							
防火対象物	所在地	④			電話	番	
	名称	⑤		主要用途	⑥		
設置場所	用途	⑦	床面積	⑧ m ²	消防用設備等又は	⑪	
	構造	⑨	階層	⑩	特殊消防用設備等		
届出設備	設備の種類	⑫					
	着工(予定)年月日	⑬		竣工(予定)年月日	⑭		
	設備の概要	⑮					
	使用する燃料・熱源・加工液	種類			使用量		
		⑯			⑰		
	安全装置	⑱					
取扱責任者の職氏名		⑲					
工事施工者	住所	⑳			電話	番	
	氏名	㉑					
※ 受付欄			※ 経過欄				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 階層欄には、屋外に設置する設備にあつては、「屋外」と記入すること。
 - 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - 火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備にあつては、使用量欄には1時間当たりの入力を記入すること。この際、電気を熱源とする設備にあつては、1キロワットを860キロカロリーに換算すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 当該設備の設計図書を添付すること。

〔炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー給湯湯沸設備・乾燥設備・簡易サウナ設備・一般サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書〕

項目	記入要領
①届出区分	届出に係る区分以外を二重線で抹消します。
②届出日	届出書を消防署へ提出する年月日を記入します。
③届出者	1 事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。 法人の場合は、法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入します。 2 個人事業主の場合は、住所登録をしている住所を記入します。 3 事業所の電話番号を記入します。
④防火対象物所在地	対象物の所在地を記入します。
⑤防火対象物名称	対象物の名称を記入します。
⑥主要用途	対象物の用途を、政令別表第1に掲げる用途区分内にある主要な用途を、記入します。 (例 旅館・飲食店・工場・店舗併用住宅等)
⑦用途	設置又は、設置しようとする場所の用途を記入します。 (例 機械室・ボイラー室等)
⑧床面積	設置する場所の床面積を記入します。
⑨構造	設置する場所の構造を記入します。 (例) 木造、鉄骨造等
⑩階層	設置する場所の階層を記入します。 (例 地下1階・1階等)
⑪消防用設備等	対象物に設置されている消防用設備等を記入します。 (例 消火器・自動火災報知設備等)
⑫設備の種類	届出設備の種類を記入します。
⑬着工(予定)年月日	着工(予定)年月日を記入します。
⑭竣工(予定)年月日	竣工(予定)年月日を記入します。
⑮設備の概要	届出設備の概要を記入します。(※1)
⑯種類	使用する燃料・熱源・加工液の種類を記入します。(※2)
⑰使用量	使用する燃料・熱源・加工液の使用量を記入します。(※3)
⑱安全装置	設置されている又、設置しようとする安全装置を記入します。(※4)
⑲取扱責任者の職氏名	取扱責任者の職・氏名を記入します。
⑳工事施工者住所・電話番号	工事施工者の住所・電話番号を記入します。
㉑工事施工者氏名	工事施工者の氏名を記入します。

注 (※1)～(※4)については、設置する設備の仕様書等を添付する場合においては、記入する必要はありません。